

まんが甲子園 本選に 3年連続3回目の出場!

全国の高校生を対象としたまんがの大会、まんが甲子園。出題されたテーマに沿ったまんがを、チームで1枚の紙に描きます。今回の予選では海外も含めて301校の応募があり、その内の33校が本選に出場しました。



▲4人で仕上げる作品

本選には「今年こそは優勝」と意気込んで臨みましたが、惜しくも決勝には進めませんでした。

部員のみなさんは「大会の難しさが分かった。来年こそ栄冠を勝ち取る」と話します。



▲完成した作品と記念撮影



文芸部はどんな活動をしているの?

全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)への応募作品の制作、広報おおぶ「マンガ広報」の連載、文化祭の企画、イラストコンテストへの応募などのほか、個人作品の制作や、部誌の作成などを行っています。

マンガ広報が今号で1周年を迎えました。今回は、マンガ広報が始まったエピソードや『作者』である大府東高校文芸部の皆さんの制作現場を紹介しします。

マンガ広報が始まったきっかけ

広報おおぶの課題として若者の愛読率の低さがあり、当時まんが甲子園に2年連続出場していた大府東高校文芸部に相談し、マンガを通して、若い人にも興味を持って読んでもらえるようにしようとの考えから、コラボ企画が立ち上がりました。

マンガ広報ができるまで

STEP 1 取材・イメージ組み立て

①取材先を決める

市の行事や取り組みをもとに、広報広聴課と相談しながら取材先を決めます。内容に応じて、イベントへの参加や、話を聞きに行きます。



▲早川ぶどう園で取材

②作品のイメージを決める

イベント参加や取材を通して、ストーリー構成を考えます。取材では事前に質問することを考えて臨んでいます。

マンガを書く際に参考になる写真を撮ります。マンガに登場する人物の配置なども考えて構図を考えています。

STEP 2 制作



文担当

まず登場人物を決めて、文を考えます。マンガのようにするためにセリフを多くしているのので、文として成り立つかどうか気をつけながら書いています。



絵担当

まずストーリー構成に合う絵を画用紙に下書きします。そして、その絵をスマートフォンで撮影し、イラスト作成用のアプリを使って写真を下絵にマンガを描きます。

STEP 3 納品

校正を終え、広報広聴課へ送信。広報おおぶに掲載!



南谷部長

これから多くの場で活躍できるように、部員一同頑張ります!

